

## エスクロー・エージェント・ジャパン信託に 総合信託業務システム「TrustPORT」を提供

～ 信託会計業務・不動産信託業務を支援 ～

BIPROGYは、株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託（本社：東京都千代田区、代表取締役：今中 弘明氏、以下 EAJ 信託）に、総合信託業務管理システム「TrustPORT（トラストポート）」を2026年4月1日から提供します。

BIPROGYは、1970年代から40年以上にわたり、信託銀行や信託会社など数多くのお客さまに信託業務システムを提供しています。

EAJ 信託は、事務処理時間の短縮、信託事務の負担軽減、オペレーショナルリスクの軽減を図るために「TrustPORT」の導入が有益と判断し、採用に至りました。

### 【EAJ 信託の「TrustPORT」採用ポイント】

#### 1. 信託会計業務だけでなく、不動産信託業務にも対応

汎用的な信託会計管理が可能な「信託会計システム」だけでなく、物件情報管理や賃料などの入出金管理機能を備えた「不動産信託システム」も実装しています。

#### 2. 受託者財産管理が容易

伝票や帳簿の管理などの会計管理機能や、信託契約ごとの受託者会計管理機能を実装しているため、受託者財産管理が容易です。

#### 3. SaaS 提供および制度変更対応

SaaS での提供により短期間での導入および低料金でのシステム利用を実現し、本番稼働後の維持管理コストを抑制できます。また、金融庁宛報告書の書式改定時など、各種制度変更に対して個別での対応が不要です。

### 【総合信託業務管理システム「TrustPORT」の特徴】

#### 1. 幅広い信託業務の事務処理が可能

汎用的な信託会計管理が可能な「信託会計システム」と、信託業務ごとの「事務管理システム」で構成されており、「信託会計システム」をベースに幅広い信託業務の管理が可能です。

#### 2. 拡張性があるため迅速な信託事業拡大を支援

「不動産信託システム」以外にも「金銭債権信託システム」や「個人信託システム」といった事務管理システムを有しており、信託業務拡大時にも迅速な対応を支援できます。

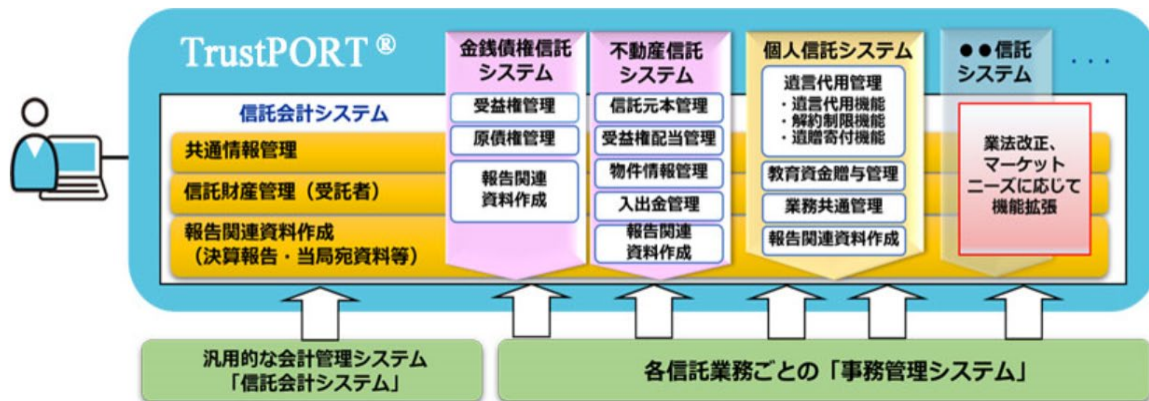
#### 3. 新規信託事業参入支援からシステム提供まで総合的なサービスを提供

長年にわたる信託業務システムの提供で培った豊富なノウハウに基づき、信託事業参入前の検討支援から信託参入後のシステム提供までをトータルで支援できます。また、新規信託免許取得申請などの際に、コンサルティングサービス「認可申請支援サービス」の提供も可能です。

## 【今後の取り組み】

信託市場は、信託財産総額が 1,800 兆円を超えるなど右肩上がりに成長しており、信託事業に参入する企業も相次いでいることから、「TrustPORT」の導入企業も増加しています。今後も BIPROGY は、相続や事業承継といった資産の保全や、資産の戦略的活用といった社会的課題を解決する手段として、昨今ニーズが高まっている信託スキームに対し、豊富な経験とノウハウに基づき、DX を推進し、お客さまの信託業務を支援していきます。

## 【総合信託業務管理システム TrustPORT 概要図】



以上

株式会社エスクロー・エーエージェント・ジャパン信託 <https://eajt.co.jp/>



（本社：東京都千代田区、代表取締役：今中 弘明 氏）

わたしたちは「エスクロー」「信託」を通して不動産取引における安心、満足、便利を提供する会社です。取引の安全性と透明性を高め、関係者の負担を軽減します。

### ■ EAJ 信託が提供する信託サービス：

不動産事業者等向け：不動産売買代金等管理信託(エスクロー信託)・不動産管理信託  
士業専門家向け：士業支援信託

### ■ 関連リンク：

- ・総合信託業務管理システム「TrustPORT」  
<https://www.biprogy.com/solution/lob/fs/trustport/index.html>

※TrustPORT は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のもので、その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.biprogy.com/newsrelease\\_contact/](https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/)

## BIPROGYグループの「経営方針（2024-2026）」

「持続性のある事業ポートフォリオ確立による企業価値の向上」、「経営資源配分の最適化」、「グループ経営基盤の強化」の3つの基本方針を基軸に、「コア事業」と「成長事業」の両輪で事業拡大を図ります。



### 【コア事業での取り組み】

BIPROGY グループが経営方針（2024-2026）で掲げるコア事業戦略として、五つの注力領域を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「ファイナンシャル領域」における取り組みと位置付けています。

BIPROGY グループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、地域経済の活性化を支援し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGY グループ経営方針（2024-2026）

<https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf>